

レビュー項目 (事業名)	ひょうごミモザ企業認定の推進				部(局)	県民生活部			
					所管課	男女青少年課			
					担当班	男女共同参画班			
					連絡先	078-362-3160			
開始年度	令和4年度	終了年度	—	関連計画等	県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2025」				
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県			
事業目的	県内企業のさらなる女性活躍推進に向け、ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)認定制度の普及促進を図る								
事業概要	女性のキャリア形成や登用・定着促進などに積極的に取り組む企業を「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)」として認定する制度の普及促進のためのPRに取り組むほか、ミモザ企業の認知度向上と女子学生の県内就職・定着を図るミモザセッション(女子学生と企業との交流会)の開催等に取り組む ※ミモザ企業：要件20項目中14項目を満たす企業、フレッシュミモザ企業：要件20項目中8項目を満たす企業 【要件の例→女性活躍に向けた取組方針を従業員に明示、女性従業員向けキャリアアップ研修を実施等】								
令和6年度当初予算	7,916千円	(国庫)	0千円	(特定)	0千円	(起債)	0千円	(一般)	7,916千円
評価	指標名	5年度実績	6年度目標	7年度目標	最終目標【年度】	設定の考え方			
	成果指標(アウトカム指標①-1)								
	ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)認定数	139社(累計)	164社(累計)	189社(累計)	189社【7年度】(累計)	【設定の考え方】 ミモザ企業・フレッシュミモザ企業認定数の増加により女性活躍に取り組む県内企業を着実に増やす 【目標数値の考え方】 実績(R4:70社、R5:69社)を上回る企業数75社の認定を目指すし、より認定を目指しやすいフレッシュミモザ企業を50社とする。 〔内訳・ミモザ企業25社・フレッシュミモザ企業50社〕			
	成果指標(アウトカム指標①-2)								
	ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(フレッシュミモザ企業)認定数	—	50社(単年度)	50社(単年度)	50社【7年度】(単年度)				
	成果指標(アウトカム指標②-1)								
	ミモザセッション学生の参加人数(女子学生と企業の交流会)	47名(単年度)	50名以上(単年度)	50名以上(単年度)	50名以上【7年度】(単年度)	【設定の考え方】 女子学生と企業のマッチングの機会を提供するミモザセッションの開催により、女性活躍の場づくりを促進 【目標数値の考え方】 交流会参加者数(学生・企業)のR5実績並又は上回る参加を目指す			
	成果指標(アウトカム指標②-2)								
	ミモザセッション企業の参加人数(女子学生と企業の交流会)	103名(単年度)	100名以上(単年度)	100名以上(単年度)	100名以上【7年度】(単年度)				
	成果指標(アウトカム指標③)								
指	活動指標(アウトプット指標①)								
	ミモザセッション開催数(女子学生と企業の交流会)	1回(単年度)	1回(単年度)	1回(単年度)	1回【7年度】(単年度)	【設定の考え方】 女子学生と企業のマッチングの機会を提供するミモザセッションの開催により、女性活躍の場づくりを促進 【目標数値の考え方】 R5実績並			
	活動指標(アウトプット指標②)								
	ミモザ企業申請に向けた企業訪問数	97社	100社	100社	297社【7年度】(累計)	【設定の考え方】 ミモザ企業制度の認知度向上により申請への働きかけを行う 【目標数値の考え方】 成果指標①に掲げる目標を上回る企業訪問数を目指す			
活動指標(アウトプット指標③)									
標	終期設定	有・無(下記改善基準に基づき見直しを検討)							
	改善基準	令和7年度の認定企業数を踏まえ、PR方法等を見直し							
外部委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標①がフレッシュミモザ企業も含めた数字となっているのか、わかりにくくなっているのか、ミモザ企業の累積数と、フレッシュミモザ企業の単年度数の二つをアウトカム指標に設定してはどうか。 ・アウトカム指標②について、学生と企業の合計の参加者数となっているので、学生と企業の参加者数を分けてはどうか。 ・女子学生と記載しているが、高校生は生徒であるため、高校生も対象にしているのであれば、女子学生・生徒と記載すべき。 ・フレッシュミモザ企業を増やすだけでなく、そこからミモザ企業へと繋げることが重要である。 ・中小企業や、女性活躍が進みにくい業種に注力することが必要であるので、可能であれば業種や規模をカテゴライズしてはどうか。 ・高校生、大学生を対象にするのかによって業種も変わってくるので、業種分けを行っても良いのではないか。 ・ミモザ企業の認知度向上のため、大学への広報アプローチを強化すべき。 ・ミモザ企業に認定されると、女性が集まるという事実をしっかりとPR、発信すべき。 								
見直し結果									
<ul style="list-style-type: none"> ・外部委員会意見を踏まえ、アウトカム指標①②を修正した。 ・女性活躍推進専門員による企業訪問や相談対応に加え、認定のメリットを強調したPRなどを通じて、フレッシュミモザ企業からミモザ企業へのステップアップを働きかけることにより、ミモザ企業を着実に増やす。 ・ミモザ企業の認知度向上のため、R6から取り組んでいる「学生と企業が出会う場づくり」や「SNS等を活用した魅力発信」については、継続して取り組む。 									